

日防協

補修・防食ガイドブック発刊

132技術掲載 防食従事者必携の一冊

日本コンクリート防食協会（日防協、三品文雄会長）は、今月中旬に「上水道・下水道・農業集落排水施設等のコンクリート構造物等に関する補修・防食対策ガイドブック（補修・防食対策ガイドブック）」を発刊する。40団体132件の補修・防食技術を収録。調査診断から防食・補強・補修、端部処理まで網羅。JS防食技術マニュアルと合わせ、施設防食必携の一冊として官公庁を中心に配布活動を進める。

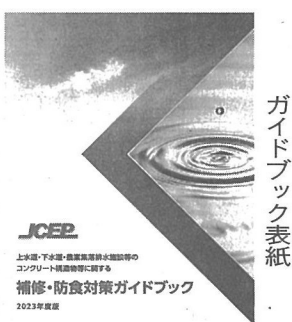
上水道・下水道・農業集落排水等施設において使用されるコンクリート構造物の補修・補強・防

食に関する情報を、発注者・設計者・請負者に提供する目的で令和3年度から検討準備を重ねてき

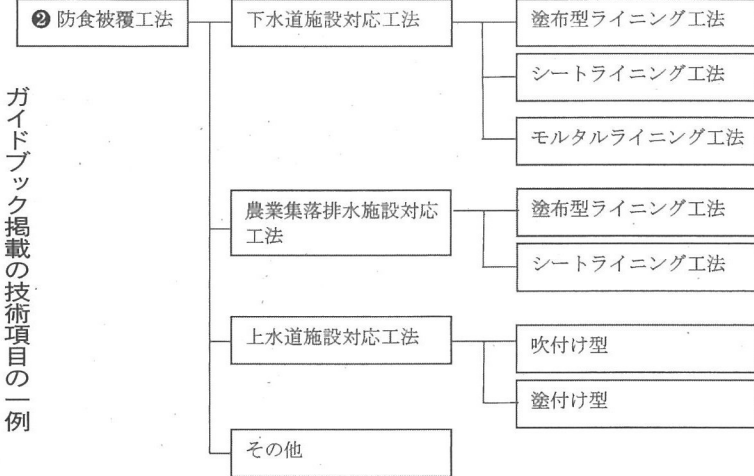
ていたもの。現在、施設の老朽化や環境変化による劣化や自然災害による損傷など、さまざまな問題が発生しており、施設の補修・補強およびコンクリート防食は、施設の長期的な耐久性を維持するために重要な課題となっており、日防協では今後、コンクリートメンテナンス市場が拡大の一途をたどるとみている。

水材料・工法」「断面修復材料・工法」「補強筋・補充筋材料・工法」「ひび割れ処理材料・工法」「端部処理・シーリング材料」「その他（超高圧水処理・目地補修材料・防錆剤・止水材等）」

で合計1322に上る。各技術の説明シートでは、「工法・材料の特徴」「要求性能への適応性」「各種施設の適用条件」「概算工事費」「施工工程」「施工実績」等、設計・調査・施工におけるポイントや注意点、施設



の維持管理に役立つ情報などを掲載している。参考資料として、各種材料・工法の品質規格やコンクリート



ガイドブック掲載の技術項目の一例

対象技術は、「調査・診断」「防食被覆工法」「防